

2024年度 大阪東部地区商工会議所賃金調査結果概要について

<調査期間> 2024年6月1日～6月末日
<調査対象> 4,108社(東大阪・守口門真・北大阪・大東・八尾・松原各商工会議所の管内企業)
<有効回答> 838社(回答率:20.4%)

1. 賃上げ実施割合と賃上げ率

2024年の賃上げ実施については76.7%(回答事業所838社の内643社)が実施し、前年(77.6%)より0.9ポイント減少した。平均賃上げ率は3.3%と前年(3.0%)から0.3ポイント増加した(第1表)。

2. 平均給与の動向

全業種でみた1ヶ月当たりの平均給与は、給与総額352,206円と前年より0.6%下降し、所定労働時間内給与(以下時間内給与と略)は323,376円(前年比0.7%増)、所定労働時間外給与(以下時間外給与と略)は28,830円(同12.5%減)であった(第2表)。

3. モデル賃金(基本給、職務給、職能給等で手当等は含まない)

今年の学歴・職種別のモデル賃金を前年の調査結果と比較すると、全ての年齢層で前年を上回っている(第3表)。

第1表 賃上げ実施割合と賃上げ率 (単位:%)

Table with 5 columns: Category, 2023年実施割合, 2023年賃上げ率, 2024年実施割合, 2024年賃上げ率. Rows include 全業種, 製造業, 非製造業.

第2表 平均給与の動向 (単位:円,%)

Table with 5 columns: Category, 2023年, 2024年, 前年比. Rows include 全業種, 製造業, 非製造業, with sub-rows for 給与総額, 時間内給与, 時間外給与, 平均年齢, 勤続年数.

第3表 2024年モデル賃金(全業種) (単位:円,%)

Table with 9 columns: 学歴, 年齢(歳), 勤続(年), 事務職, 現場職, 2023年, 2024年, 対前年比. Rows are categorized by 高卒, 高校, 大卒, 大学.

注)モデル賃金(基本給)を使って計算。

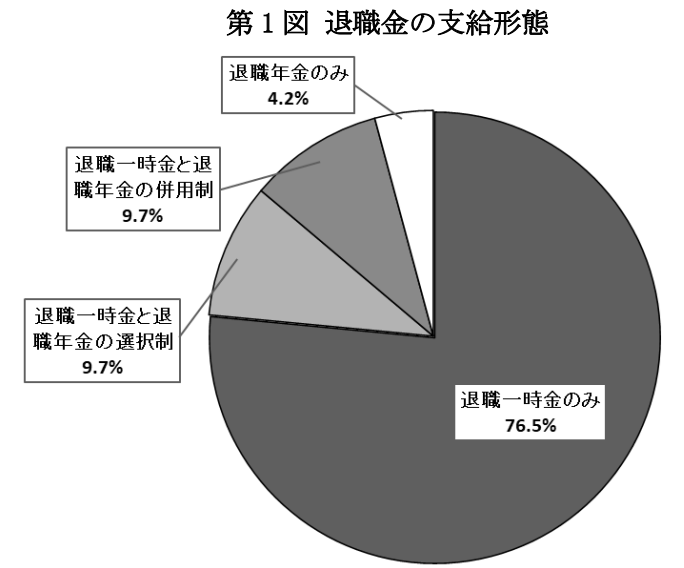
<付帯調査>モデル退職金調査結果概要について

<調査期間>、<調査対象>は、賃金調査と同様。
<有効回答> 713社(回答率:17.4%)

4. 退職金の支給形態

退職金については、77.0%(回答事業所713社の内549社)の事業所が退職金制度を設け、164社が「制度無し」と回答した。

退職金制度を設けている事業所549社の支給形態は、「退職一時金のみ」と回答した事業所の割合が、全体で76.5%(前回69.6%)と8割近くを占めている。次いで、「退職一時金と退職年金の選択制」と「退職一時金と退職年金の併用制」が共に9.7%、「退職年金のみ」4.2%となっている(第1図)。



5. モデル退職金

回答事業所全体と製造業、非製造業に分けた業種別モデル退職金については、次のとおりである(定年時以外は自己都合で退職した場合の金額)。まず、全体のモデル退職金で、学歴別のモデル退職金支給金額をみると、年齢60歳時では、中学卒689万円、高校卒825万円、大学卒884万円であり、定年時では、中学卒768万円、高校卒884万円、大学卒979万円となっており、学歴ごとに格差がみられる。業種を製造業と非製造業に分けた業種別モデル退職金をみると、定年時の退職金支給額では、大学卒を除いて製造業が非製造業の支給額を上回る結果となっている(第4表)。

第4表 モデル退職金

Three tables showing model pension amounts for 全業種, 製造業, and 非製造業. Each table has columns for 学歴, 年齢, 勤続, サンプル, 平均金額.